



送付枚数：4枚

多賀城市立小学校全6年生が学ぶ

「多賀城学」の開催

令和5年9月4日

令和6年に創建1300年を迎える多賀城市では、市内全小学校の6年生が、古代の東北地方の中心として栄えた多賀城の歴史と文化を学び、「多賀城を知り、多賀城を語り、多賀城を誇りに思う子どもに育つ」授業として、「多賀城学」を開催しています。

講師は、多賀城市埋蔵文化財調査センターの職員が務め、これまでの研究を生かした専門性の高い授業を展開しており、今回は多賀城東小学校で下記のとおり「多賀城学」を実施します。

記

日時：9月8日（金）①6年2組 10：40～12：10
②6年3組 13：25～14：55

場所：多賀城東小学校 6年各教室

対象：6年生児童

その他 ●多賀城東小学校以外の5校は7月から8月に終了しており、今回が最後の授業になります。

- 今年度から2カ年をかけて多賀城市立の全ての小・中学校が、地域と共にある学校を目指した「コミュニティ・スクール」になります。今回の取組みは、地域にある多賀城市埋蔵文化財調査センターが学校支援の一環として、「多賀城市の全ての6年生が、多賀城を学ぶ同じ授業を受ける」ことをねらいに今年度からスタートしました。

※コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置した学校です。学校運営協議会は、保護者や地域、企業等の方が委員になり、学校運営や学校運営に必要な支援について協議を行う合議制の会です。

《問い合わせ》

教育委員会事務局教育総務課学校教育係

☎022-368-1141（代表）



多賀城創建記念

TAGAJO 1300th Anniversary
724-2024

「多賀城学」～奈良・平安時代の多賀城を知ろう～

作成：埋蔵文化財調査センター

1 目的

多賀城は、奈良・平安時代に現在の多賀城市市川地区に置かれた。陸奥国の国府及び奈良時代には、対蝦夷対策として軍事をつかさどった鎮守府もあわせ置かれるなど、古代の東北地方の中心として機能した。

また、その南面には道路で区画された地割が作られ、そこには役人の邸宅や庶民の住まいが広がり、古代都市ともいえる空間が形成された。

これらの古代史上重要な本市の歴史及び発掘調査について、歴史を学びはじめる小学校6学年の時点から基本を習得し、慣れ親しむことによって郷土の歴史への関心を高め、これからの歴史を生かした市の発展に寄与する人材を育てる。

2 方法

対象は、市内の小学校6学年の児童。埋蔵文化財調査センターの文化財専門職員が学校に出向き、授業を行う。

3 教材

プリント、スライド、市内の遺跡から出土した土器などの考古資料

4 指導案 2コマの授業

1コマ目 多賀城の役割と陸奥国

時間	内容	習得事項	児童の作業	使用教材
15分	多賀城の概要・役割 陸奥国 多賀城碑	<ul style="list-style-type: none"> 多賀城は、奈良・平安時代に多賀城市市川地区にあった役所 多賀城は724年に置かれ、それは多賀城碑に書かれている。 陸奥国を治めた東北の中心地 	<ul style="list-style-type: none"> 当時の都、平城京、平安京の位置を確認する。 地図の多賀城碑の位置にシールを貼る。 地図の陸奥国の部分に色を塗る。 	<ul style="list-style-type: none"> スライド（常時） ワークシート 教科書p.28挿絵「平城京で働く役人」
		<ul style="list-style-type: none"> 北海道、東北からは、貴重な産物が天皇に献上された。中でも豊富な金は重要視され、東大寺の大仏建立の際には大量に都に送られた。 	<p><クイズ></p> <p>（奈良市にある東大寺の大仏の写真を見せながら）大仏を作る時に使われた陸奥国の特産品はなんでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書p.31図「全国から集められた人や物資」
まとめ 5分		<p><u>*陸奥国はとても広く、豊かで、都の人々にとっても重要な土地であった。</u></p>		

(説明) 5分	多賀城と 蝦夷	・陸奥国は、都の人々が蝦夷と呼んだ人々が暮らすエリアと隣り合っている。		
(話し合い) 10分 (発表) 5分		・蝦夷を武力で抑えることも多賀城の役割のひとつ	<グループワーク> ・蝦夷が武器を持って攻めてくることを考えて、多賀城にはどんな施設が必要か考えてみよう。	
まとめ 5分		<u>*築地という土の塀で囲まれ、高い位置から周囲を見回せる場所にある防御に適した役所だった。</u>	・地図の築地部分をなぞる。	・ワークシート

2 コマ目 古代のまち並みと人々の暮らし

時間	内容	習得事項	児童の作業	使用教材
10分	南北大路と 東西大路	・多賀城の南面には、多くの住居が並ぶまち並みがあった。 ・その中でもメインになる道路は、多賀城から南北に走る南北大路と、東西に走る東西大路	・南北大路と東西大路がどこを通っていたか、現在の地図の上をなぞって確認する。	・スライド (常時) ・ワークシート ・教科書 p.28 写真「平城京の朱雀門」 ・教科書 p.26 写真「藤原京の復元模型」
5分	多賀城南門	・多賀城南門は、多賀城の正面の入口 ・南門は、それらの大きな道路とつながっている。 ・当時の姿に復元され、令和6年に公開される。	・地図に南門のシールを貼る。 <クイズ> ・復元される南門には何枚の瓦が使われているでしょうか。	・ワークシート
5分	まち並み	・多賀城の南面は、南北大路と東西大路を基準に区画されたまち並みが広がっており、役人や庶民が暮らしていた。		

15分	古代の暮らしの道具	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良、平安時代、人々は土を焼いて作った土器を使っていた。 ・土の中にある昔の人々が生活した跡を調査することを発掘調査という。 	<p><資料観察></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際の資料に触れて使い方を想像してみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考古資料
10分	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・2コマ授業を受けての感想をまとめる。 ・埋蔵文化財調査センターの紹介 		

5 目標到達点

- ・多賀城が奈良、平安時代の役所であることが言える。
- ・多賀城が管理した陸奥国のおおよその範囲を地図に色付けすることができる。
- ・多賀城の場所を地図で示すことができる。
- ・北方の律令体制に組み込まれていない人々、「蝦夷」という名称が言える。
- ・多賀城創建の年代が書かれた石碑、「多賀城碑」という名称が言える。
- ・南面のまち並みがどのように特別であったか、自分なりの意見を言える。
- ・南門公開の年が令和6年で、多賀城が置かれてから1300年後であることが言える。
- ・郷土多賀城に興味を持ち、多賀城を誇りに思う心がもてる。